

**「経営の健全化のための計画」**  
(金融機能の早期健全化のための緊急措置に関する法律第5条)  
**の履行状況に関する報告書**

(貸出金の推移)

平成11年12月  
株式会社 日本興業銀行

## 「貸出金の推移（実勢ベース（インパクトローンを除く）」について

### 11年9月末の実績等の状況について

- ・平成11年9月末の国内貸出は、金融システムの安定に伴い積極的に対応して参りましたが、貸出競争が激化する一方で、引き続き大企業を中心に設備投資ニーズは盛り上がり欠けるなど、貸出の環境は依然として厳しく、平成11年3月末比4,390億円の減少となりました。

この間、為替相場が大幅に円高になったことから、外貨建貸出の残高は422億円減少することになりました。

又、債権保全の観点から、要管理債権以下の不良債権（要管理債権、危険債権及び破産更生債権）につきましては、引き続き回収に努めました結果、不良債権の残高は973億円減少しております。

- ・中小企業向け貸出につきましては、『貸出残高の増加』という法の精神に則り、注力して参りました。

具体的には、優良な中小企業の資金需要には積極的に対応するため、特別貸出枠を設定し対応致しました。また、中小企業のあらゆるニーズに対応するための中堅企業営業室の設置や、ベンチャーキャピタル子会社等グループとの連繫を緊密にするなど、中小企業のあらゆる事業展開をサポートする体制を強化致しました。

こうした結果、中小企業向け貸出は11年3月末比883億円減少いたしましたが、この間為替が円高となった影響が274億円、要管理債権以下の不良債権の残高減少が956億円ありましたので、かかる要因を除いた正常債権ベースでは平成11年3月末比347億円増加致しております。

### 平成12年3月末計画の実施に向けての取組について

- ・平成12年3月末の計画につきましては、引き続き法の精神に則り、優良な中小企業の信用供与に積極的に対応して参ります。  
特に、優良な中小企業の資金ニーズに対しましては、特別貸出枠を新たに追加設定するなど必要な施策を講じ、計画達成に最大限努力して参ります。

貸出金の推移  
(残高)

(億円)

		10/9月末 実績 (A)	11/3月末 実績 (B)	11/9月末 実績 (C)	12/3月末 計画 (D)	備考
国内貸出	インパ <sup>レ</sup> 外ローンを含むベース	198,465	202,991	201,813	208,500	
	インパ <sup>レ</sup> 外ローンを除くベース	197,574	202,372	200,920	207,730	
中小企業向け(注1)	インパ <sup>レ</sup> 外ローンを含むベース	79,769	79,838	78,864	78,000	
	インパ <sup>レ</sup> 外ローンを除くベース	79,632	79,734	78,457	77,880	
うち保証協会保証付貸出		0	0	0	0	
個人向け		3,924	3,871	3,726	4,000	
うち住宅ローン		3,653	3,619	3,488	3,800	
その他		114,772	119,282	119,223	126,500	
海外貸出(注2)		34,105	25,730	22,405	26,750	
合計		232,570	228,721	224,218	235,250	

(同・実勢ベース<下表の増減要因を除く>)

(億円)

		10/9月末 実績 (A)+(E)	11/3月末 実績 (B)+(F)	11/9月末 実績 (C)+(F)+(G)	12/3月末 計画	備考
国内貸出	インパ <sup>レ</sup> 外ローンを含むベース	202,020	206,958	202,842	213,700	
	インパ <sup>レ</sup> 外ローンを除くベース	201,129	206,339	201,949	212,930	
中小企業向け(注1)	インパ <sup>レ</sup> 外ローンを含むベース	82,163	83,554	82,974	84,430	
	インパ <sup>レ</sup> 外ローンを除くベース	82,026	83,450	82,567	84,310	

(注1)中小企業とは、資本金1億円(但し、卸売業は30百万円、小売業、飲食業、サービス業は10百万円)以下の会社または常用する従業員が300人(但し、卸売業は100人、小売業、飲食業、サービス業は50人)以下の会社を指しております。

(注2)当該期の期末レートにて換算しております。

(不良債権処理等に係る残高増減)

(億円( )内はうち中小企業向け)

	10/上期中 実績 (E)	10年度中 実績 (F)	11年度 上期実績 (G)	11年度中 計画 (H)	備考
貸出金償却	13( 9)	1,887(957)	251(182)	1,700(1,400)	( )
CCPC向け債権売却額	30( 30)	146(146)	0( 0)	200(200)	( )
債権流動化(注3)	3,512(2,355)	1,934(2,613)	▲3,189(212)	1,000(230)	( )
会計上の変更(注4)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	( )
協定銀行等への資産売却額(注5)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	( )
その他不良債権処理関連	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	( )
計	3,555(2,394)	3,967(3,716)	▲2,938(394)	2,900(1,830)	( )

(注3)一般債権流動化のほか、債権の証券化を含んでおります。

(注4)会計方法の変更により資産から控除される間接償却部分等であります。

(注5)金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第53条で定められた協定銀行等への債権売却額であります